

科目名	人の構造及び機能 I ①						授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	30	回	時間数	60	時間	2	単位	配当学年時期	1年	前期	
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 正常な人体の構造と機能を学ぶことは、医療に関わりをもつ者にとって共通の基盤をなす基礎知識となります。この共通する基礎知識を通して、数多くの病態に対する治療への対応が成り立っています。本講義を通して人体の構造及び機能の全体像をつかみ、各種器官の機能の役割を統合的に理解することを目的としています。											
<b>【実務者経験】</b>											
<b>【授業全体の内容の概要】</b> 人体に関連する医療用語と、各器官の位置関係、構造とはたらきについて解説する。さらに病気との関連や臓器同士の関連性などについても合わせて解説を加える。											
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> ・人体の正常な構造を自分の言葉で説明できるようになる。 ・各器官の機能や役割を理解し説明できるようになる。											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	授業ガイダンスと学習の進め方を理解できる。人体の構成について説明できる										
2	細胞の構造と細胞小器官の働きについて理解する										
3	核酸とタンパク質の合成について理解する										
4	血液成分について説明できるようになる										
5	体液の組成について説明できるようになる										
6	心臓の構造と循環について説明できるようになる										
7	心筋の特徴と心機能について説明できるようになる										
8	心臓の調節系について説明できるようになる										
9	心臓の電気現象の基礎を身につける										
10	正常心電図と誘導方法について説明できるようになる										
11	血管の構造と脈管系について説明できるようになる										
12	血圧と血管運動について説明できるようになる										
13	骨と骨格の概要について説明できるようになる										
14	骨格筋と筋肉組織について説明できるようになる										
15	筋肉の収縮と電気生理の概要について説明できるようになる										
定期筆記試験											
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> ・新版 エッセンシャル解剖・生理学、堀川 宗之、秀潤社 ・配布資料											
<b>【準備学習・時間外学習】</b> ・事前に教科書を読んで講義に臨むこと ・授業は口頭説明まで含めてノートをとること ・講義後は教科書の要点と板書内容をまとめ、自分用のノートを作成すること											
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テストを40点、定期試験を60点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する											

科目名	人の構造及び機能 I ②						授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	30	回	時間数	60	時間	2	単位	配当学年時期	1年	前期	
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 正常な人体の構造と機能を学ぶことは、医療に関わりをもつ者にとって共通の基盤をなす基礎知識となります。この共通する基礎知識を通して、数多くの病態に対する治療への対応が成り立っています。本講義を通して人体の構造及び機能の全体像をつかみ、各種器官の機能の役割を統合的に理解することを目的としています。											
<b>【実務者経験】</b>											
<b>【授業全体の内容の概要】</b> 人体に関連する医療用語と、各器官の位置関係、構造とはたらきについて解説する。さらに病気との関連や臓器同士の関連性などについても合わせて解説を加える。											
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> ・人体の正常な構造を自分の言葉で説明できるようになる。 ・各器官の機能や役割を理解し説明できるようになる。											
回数	講義内容										準備物(教材)
16	中間テスト										
17	呼吸器系の構造について説明できるようになる										
18	呼吸生理と呼吸運動について説明できるようになる										
19	換気力学の基礎を身につける										
20	肺胞におけるガス交換について説明できるようになる										
21	腎臓の構造について説明できるようになる										
22	尿生成の過程を説明できるようになる										
23	酸塩基平衡と浸透圧の調節について説明できるようになる										
24	消化器系の構成を説明できるようになる										
25	消化と吸収の概要を説明できるようになる										
26	胃の構造と消化の過程を説明できるようになる										
27	腸管の働きを説明できるようになる										
28	肝臓の構造について説明できるようになる										
29	消化管運動の調節について説明できるようになる										
30	復習とまとめを行い定期試験の準備を整えることができるようになる										
定期筆記試験											
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> ・新版 エッセンシャル解剖・生理学、堀川 宗之、秀潤社 ・配布資料											
<b>【準備学習・時間外学習】</b> ・事前に教科書を読んで講義に臨むこと ・授業は口頭説明まで含めてノートをとること ・講義後は教科書の要点と板書内容をまとめ、自分用のノートを作成すること											
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テストを40点、定期試験を60点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する											